

われわれの病院・診療所は
働くひとびとの医療機関である



船橋二和病院ホームページアドレス
<https://www.futawa-hp.jp>



船橋二和病院
船橋二和病院健康友の会
〒274-0805
千葉県船橋市二和東5-1-1
TEL 047(448)7111(病院)
TEL 047(449)4417(健康友の会)
発行責任者 宮野 暁
月一回発行 1部 50円

結びつきを広げ いのちとくらしを守る 地域の力を高めよう!!

2023年(9月~12月)
友の会「拡大強化期間」



三味小学校吹奏楽部(上)と御滝中学校管弦楽部(下)の演奏は大盛況



「いざという時のために」救急救命体験

40ほどの多彩な企画が
友の会や地域の諸団体の方々の協力を得て、たくさんさんの催し物や展示・体験コーナーが設けられました。医師による寸劇、さくら太鼓や佐渡おけき、ピアノ・スフレンズの合唱などそれぞれ迫力があり素敵なステージとなり、特に三味小学校吹奏楽部、御滝中学校

「健康まつりで血糖値を測ってもらい看護師さんから丁寧に説明を受けました。気にはなっていたけど受診するのはどこか怖いと思っていましたが、今回のことで受診する勇気をもらいました。企画された皆さまに感謝の気持ちをお伝えしたい。ありがとうございました。」(参加者の感想からご協力をいただいた皆さまに感謝申し上げます。)
第35回船橋二和病院 健康まつり実行委員会事務局 近藤 純



メインステージでは、宮原院長より「二和病院のこれまでと未来」をテーマに講演がありました。現在の疾病構造と二和病院開設当初の比較や、二和病院の果たしてきた役割、絶対的な医師不足の問題など歴史や医療情勢にふれつつ、これからの二和病院が果たす役割・目指す方向について病院リニューアルに絡めて展望が語られました。

10月29日(日)、第35回船橋二和病院健康まつりが、ふたわ診療所を会場に開催されました。
宮原院長が二和病院の役割・めざす方向を語る

管弦楽部の演奏は観覧者多数で会場に入りきれないほどの盛況ぶりでした。
展示・体験コーナーでは、友の会の保健委員も加わった体力チェックや、看護師による血糖測定・ハン

ドマッサージなど参加型の企画への関心の高さが伺われました。
医療展示などの他、毎回人気の友の会バザーや包丁研ぎ、鍼灸体験、救急救命体験、消防車展示、似顔絵や、病院の反核平和委員会

受診する勇気をもらった



「大丈夫かな?」認知症テスト体験

第40回保健大学が開講

11月7日(火)に入学式と第1講座が開催され、全8講座の保健大学がスタートしました。

第1講座は、4月に病院長に就任した宮原重佳医師をお招きし、「船橋二和病院の歴史と医療活動」二和病院リニューアルを展望して」と題してお話いただきました。

講義は①船橋二和病院の歩み、②現在の医療活動、③新型コロナウイルスパンデミックを経験して、④コロナ「5類変更」後の社会と医療、⑤医療費抑制政策のもとでの絶対的医師不足をめぐって、⑥船橋二和病院リニューアルの展望、という多岐にわたる内容でしたが、講師の「高齢者のニーズに応えながらも産婦人科・小児科医療を大切にしたい」、「地域の要求にこたえ続ける医療・介護・福祉を実践したい」、「働く職員

の働きやすさを守りたい」という思いがとても伝わってきました。
講義の後のグループワークでは保健委員や実行委員も輪に加わり、話しやすい雰囲気を作ることができました。



保健大学公開講座

「ジェンダーとは～男らしさ女らしさだけではない性の多様性について」
日時:12月19日(火)午後2時~3時30分
講師:助産師 松村 真子
会場:健康管理センター3階
Zoomでの公開も行います。
ミーティング ID: 926 0658 1806
パスコード: 040083



生き生き友の会・地域の活動

習志野台



10月25日(水)、初めての企画で、8人でアンデルセン公園に行ってきました！天気にも恵まれ、きれいなコスモスを見て、ゲームで楽しくすごしました。お昼は皆の持ち寄り弁当で豪華にお腹も大満足。

(習志野台地区 佐藤むつみ)

西・高・芝



10月27日(金)、「笑いヨガ&ゆる体操」を10名の参加で開催しました。まずゆる体操で身体をほぐし、そのあとの笑いヨガは、脳をだます作り笑いがいつのまにか本当の笑いに。替え歌や「18歳と81歳のちがい」の読み上げでも大笑いし免疫力あげあげになりました。

(西・高・芝地区 田代照代)

鎌ヶ谷東



11月6日(月)、柏崎真由子理学療法士の「骨盤底筋リハビリ」講座は14名の参加があり、尿漏れは関心が高い内容でした。骨盤の模型を使いながら分かりやすく説明、一人一人のお腹の動きも見てもらえてとても良かったです。

(鎌ヶ谷東地区 並木美代子)

「作品」「会員さんの声」を募集します

俳句・川柳・短歌、絵手紙や絵・写真、書道などなんでもOKです。また、日常の出来事、体験談、「ふれあい」紙の感想等お寄せください。「ふれあい」に随時掲載させていただきます。

俳句・川柳・短歌以外の作品は、写真で撮ったものを掲載しますので、可能な限り写真のデータでお送り下さい。現物で送って頂いたものは後日お返しいたします。

【連絡・投稿先】

◇郵送 〒274-0805 船橋市二和東5丁目1-1
船橋二和病院健康友の会宛

◇メール futawa-tomo@min-iren-c.or.jp

※お問い合わせは電話かメールで。

電話：047-449-4417



日本高齢者大会に参加しました
(11/12-13 東京)

高根台



10月16日(月)、「頻尿・尿漏れについて」の健康講座を開催し、男性2名を含む16名の参加がありました。舩田認定看護師の話は、各々の悩み事に沿う形で丁寧に問答しながら進められたので、わかりやすく納得のいく内容でした。

(高根台地区 近藤理知子)

職場紹介

地域連携センター

船橋二和病院の地域連携センターは、日頃から医師、看護師、事務職、社会福祉士がチームを組み、多種多様な相談に応じています。

超高齢社会となった今、加齢に伴う身体機能の低下や、慢性疾患を持ちながら生活していく方が多くなりました。住み慣れた地域で最期のその時まで、その人らしく生きていくためには、「医療」だけでなく、「生活」の視点も大切にしたい地域の医療・福祉との連携が必要です。

地域連携センターは、近隣の医療機関はもちろん、在宅医療を支える訪問診療や訪問看護ステーション、ケアマネジャーや介護事業所等の居宅サービス、行政の地域包括支援センター、在宅支援センターと連携し、地域の皆さんが適切な医療福祉サービスを切れ目なく受けられるよう、院内外のパイプ役として、「相談しやすく、かかりやすい医療機関の窓口」を心がけ支援調整を行っています。

円滑な医療支援ができるよう、日頃から近隣医療機関や介護福祉施設とも連携し、関係性を構築しています。今後も地域ケア会議にも積極的に参加し、地域の声に耳を傾け、実情を理解していくと共に、皆さんとの顔の見える関係づくりを追求していきたいと思ひます。



木下裕子医師 プロフィール
専門は外科(乳腺と消化器が主)
週2回外来、月2回内科外来
(健診後フォロー限定)

乳がんは幅広い年代で罹患するため「若いから大丈夫」「もう閉経して女性ホルモンが減っているから大丈夫」などの思い込みは厳禁ですよ。

一部のがんはかかるリスクを減らすことができる日本人の2人に1人が生涯でなんらかのがん(悪性腫瘍)を経験する時代です。一部のがんは「かかるリスク(危険性)を減らす」ことができるようになります。胃がんになりやすくなる、

子宮頸がんをワクチンで予防、肝炎ウイルス治療で肝臓がんのリスクがさがるなど。近年急増している乳がん

乳がん検診としておなじみのマンモグラフィーは少し痛いので不人気？ですが、乳腺の変化(がんとは限らないが)を見つけるのにすぐれた検査法です。マンモグラフィーに所見がみられた際は乳房エコーなどを追加します。CTや血液検査は早期乳がんの発見にはあまり向きません。日頃からのセルフチェック

乳がん検診のすすめ

スクを減らせる一部のがんと異なり、乳がんには有効な予防法がありません。予防法がない以上は、乳がんになっても治せる段階で見つけようという姿勢が最重要といえます。

セルフチェックと乳がん検診で早期発見を

40歳以上の方は少なくとも2年に1回乳がん検診を受けて下さい。血縁者で乳がんの人が複数いる・すでに1回乳がんにかかった人・卵巣悪性腫瘍の既往がある人は、そうでない人に比べ乳がん発生のリスクが高いため、なるべく毎年の検診をおすすめします。40歳未満の方は一律の目安はいえませんが、思いついたら気軽に検診を受け、ちょっとしたコトでも気になれば受診しましょう。

乳がんは幅広い年代で罹患するため「若いから大丈夫」「もう閉経して女性ホルモンが減っているから大丈夫」などの思い込みは厳禁ですよ。

看護師 鈴木 瑠莉

年会費納入のお願い

前年の12月にご入会いただいた方は、年会費納入の時期です。また、それ以前にご入会の方でも、年会費をお支払いいただいていた方も、年会費の納入をお願いいたします。

・友の会事務所
(月・金/10時~16時)
で受付いたします。

お問い合わせは友の会事務所まで。納入の際は会員証をお持ちください。

また、お近くの友の会役員が、お訪ねする場合もありますので、よろしくご協力ください。

友の会事務所
047-449-4417